

1 沿革

年	月	事 項
大正	8 (1919)	12 開港60年・自治制施行30年記念事業として図書館の建設を計画。
	10 (1921)	6 横浜公園内の建設事務所内仮閲覧所で図書の閲覧開始(横浜市図書館の開業)。
	12 (1923)	9 関東大震災により建物と蔵書を焼失。 12 中村町のバラックに閲覧所を設置し、閲覧開始。
	13 (1924)	3 横浜公園内に仮本館が竣工し、落成記念に震災展覧会を開催。 4 閲覧業務を実施。 9 館外貸出を実施。
昭和	2 (1927)	7 旧老松小学校跡に横浜市図書館竣工。
	5 (1930)	1 『横浜市図書館報』創刊。
	9 (1934)	11 巡回文庫開設(隣保館に図書の一括貸出)。
	12 (1937)	7 横浜市図書館を後援し各種文化事業を行う「横浜読書協会」を設立。
	19 (1944)	10 一般閲覧室を市会議場として使用。
	20 (1945)	3 横浜連隊区司令部の接收により戸部小学校に移転。図書館の建物は、終戦後米軍に続いて市復興局が使用。 9 戸部小学校から教育会館に移転。
	22 (1947)	8 移転先より野毛に復帰。 9 開架式で閲覧業務を再開。
	25 (1950)	4 館外個人貸出開始。 図書館法公布で閲覧無料となる。
	29 (1954)	10 団体貸出事業開始。
	32 (1957)	3 『郷土よこはま』創刊。
	34 (1959)	5 「サンディエゴ＝横浜友情文庫」を特設。 7 貸出文庫用自動車購入。翌年1月から本格的に配本開始。
	35 (1960)	5 日吉閲覧所開設(44年9月団体貸出に移行)。
	38 (1963)	1 新館増改築工事竣工。
	44 (1969)	8 団体貸出用広報『ひろば』創刊。
	45 (1970)	4 横浜市図書館報『こだま』創刊。 8 移動図書館「はまかぜ1号・2号」による巡回貸出開始。
	47 (1972)	10 『横浜市図書館行政の施策と展望(意見具申)』(横浜市社会教育委員会議)が出される。
	48 (1973)	11 「横浜市総合計画1985」策定。方面別図書館建設の方針が出される。
	49 (1974)	10 磯子図書館開館。市立図書館2館となる。
	52 (1977)	4 山内図書館開館。市立図書館3館となる。
	53 (1978)	11 戸塚図書館開館。市立図書館4館となる。 初めてコンピュータ方式を採用。
	54 (1979)	5 戸塚図書館で視覚障害者サービス開始。
	55 (1980)	1 鶴見図書館開館。市立図書館5館となる。 5 金沢図書館開館。市立図書館6館となる。 6 磯子図書館、山内図書館をコンピュータ方式に転換。 7 『こだま』『ひろば』を統合し、図書館報『よこはま』創刊。 8 港北図書館開館。市立図書館7館となる。
	56 (1981)	4 図書館間の連絡車が稼動。 12 「よこはま21世紀プラン」策定。1区1館建設及び中央図書館建設方針を確立。
	57 (1982)	5 保土ヶ谷図書館開館。市立図書館8館となる。

年	月	事 項
昭和	57 (1982)	9 戸塚図書館で台風により地下書庫の冠水被害。
	60 (1985)	1 瀬谷図書館開館。市立図書館9館となる。
	61 (1986)	5 旭図書館開館。市立図書館10館となる。
	62 (1987)	1 港南図書館開館。市立図書館11館となる。 4 地域図書館の火～木曜日の開館時間を午後7時までに延長(金曜日は以前から7時)。 5 『横浜市中央図書館基本構想委員会報告書』が提出される。
	10	10 神奈川図書館開館。市立図書館12館となる。
	11	11 各図書館報を統合して横浜市立図書館報『横浜』創刊。「文化の日」開館開始。
	63 (1988)	1 山内図書館改修工事竣工、団体貸出開始。
平成	元 (1989)	2 泉図書館開館。市立図書館13館となる。 3 栄図書館開館。市立図書館14館となる。 『横浜市中央図書館資料収集検討委員会報告書』が提出される。 5 中図書館開館。市立図書館15館となる。 「こどもの日」開館開始。 11 「よこはま21世紀プラン」第3次実施計画策定により、中央図書館・分館を含めた図書サービスネットワーク確立の方針を打ち出す。
	2 (1990)	1 中央図書館建設のため横浜市図書館休館。 3 横浜市図書館仮設館開館。 9 横浜市図書館を解体、中央図書館着工。
	3 (1991)	4 神奈川県図書館情報ネットワークシステム(KL-NET)に加入。
	4 (1992)	12 南図書館開館。市立図書館16館となる。
	5 (1993)	10 横浜市図書館仮設館の個人貸出・閲覧業務を停止。 6 (1994) 1 各図書館で「横浜市立図書館情報システム」による窓口業務開始。 2 中央図書館一部開館。 4 中央図書館全面開館。図書館情報システム全面稼動。 12 「ゆめはま2010プラン」基本計画策定。 1区1館達成後、図書館8館の新設と地区センター等とのネットワーク整備を計画。
	7 (1995)	4 都筑図書館開館。市立図書館17館となる。 5 緑図書館開館。市立図書館18館となる。 1区1館の達成。
	8 (1996)	1 中央図書館で来館困難な障害者に対する配送貸出サービス開始。
	10 (1998)	3 図書館ホームページを開設、インターネットによる蔵書検索サービス開始。
	11 (1999)	5 「庁内情報拠点化事業」開始。 11 磯子図書館、磯子区総合庁舎に移転開館。「予約図書情報ダイヤル」サービス開始。
	12 (2000)	4 市立図書館全館で祝休日等年間30日の開館日拡大。中央図書館の火～金曜日の開館時間を午後8時30分までに延長。
	13 (2001)	12 市立図書館全館で月曜日開館開始。
	14 (2002)	12 「横浜市中期政策プラン」策定。地区センターとの連携、図書館情報システムの改善を計画。
	15 (2003)	1 図書館情報システムを更新。
	16 (2004)	5 Eメールレファレンスサービス開始。

年	月	事 項
平成 17 (2005)	1	登録更新手続を開始。 ホームページに「Yokohama's Memory 都市横浜の記憶」を公開。 地区センター等蔵書情報を公開。
	10	インターネットでの予約・貸出延長サービス開始。
18 (2006)	12	「地区センター等ネットワーク試行調査事業」 開始(二俣川駅・東戸塚駅行政サービスコーナー 及び青葉区内地区センター1施設での 貸出・返却、東急田園都市線3駅への返却 ポスト設置)。
	2	中央図書館でインターネット閲覧サービス開始。
19 (2007)	10	「横浜市立図書館のあり方懇談会」開設。
	12	「横浜市中期計画(横浜リバイバルプランⅡ)」 策定。「市立図書館のあり方検討」を計画。
20 (2008)	1	地域図書館5館(旭・金沢・緑・都筑・栄)で インターネット閲覧サービス開始。
	2	全館に「初めて出会う絵本コーナー」開設。
21 (2009)	8	『横浜市立図書館のあり方懇談会報告書』の 提出を受ける。
	10	全館で「ティーンズサービス」開始。 「地区センター等ネットワーク試行調査事業」 拡充(青葉区内地区センター等5施設での 貸出・返却開始)。
22 (2010)	1	横浜市立図書館情報紙『@Lib』創刊。
	3	全地域図書館にインターネット閲覧サービス拡大。
23 (2011)	4	横浜開港150周年事業を開催(～12月)。
	10	開港150周年にあたって小学生から募集した 『ヨコハマの子どもが選んだ150冊』を発表。
24 (2012)	2	文部科学省による図書館プロジェクト「図書館 海援隊」に参加。
	4	山内図書館で指定管理者による運営を開始、 あわせて火～金曜日の開館時間を午後8時 30分まで延長。 中央図書館司書補助業務委託及び書誌作 成業務委託導入。 青葉区内コミュニティハウス1施設での貸出・ 返却開始。
25 (2013)	7	国民読書年事業として「ヨコハマ、本の虫宣言 ～2010年は国民読書年」を開催。
	9	「横浜市立図書館司書人材育成計画」を策定。
26 (2014)	12	山内図書館で有料宅配サービスの試行開始。
	1	「横浜市立図書館アクションプラン」を策定。 「横浜市教育振興基本計画」策定。
27 (2015)	3	「蔵書再構成5か年計画」及び「横浜市立図 書館児童サービス5か年計画」を策定。
	4	都筑図書館、戸塚図書館司書補助業務委託導入。 横浜市立図書館メールマガジンの配信を開始。
28 (2016)	6	横浜市立図書館創立90周年。記念事業開催。
	7	節電のため9月まで、中央図書館を除く地域 図書館で、週1日輪番による休館を実施。
29 (2017)	1	図書館情報システムを更新。
	6	「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」公布。
30 (2018)	10	市立学校への学校司書の配置開始。
	3	「横浜市民読書活動推進計画」策定。
令和 元 (2019)	4	「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」施行。 各区に読書活動推進担当課長を設置。 (地域図書館長が兼務。西区はサービス課長、 青葉区は企画運営課長が兼務。)

年	月	事 項
平成 26 (2014)	10	ボランティア向けメールマガジン配信開始。
	11	横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム 「横浜読書百貨展」(第1回)開催。 「第2期 横浜市教育振興基本計画」策定。
27 (2015)	2	「横浜市立図書館蔵書5か年計画」及び「横浜 市立図書館児童サービス5か年計画」を策定。
	3	「横浜市立図書館アクションプラン(第2期)」 を策定。
28 (2016)	11	横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム 「横浜読書百貨展」(第2回)開催。
	1	港南台地区センターでの図書取次サービス開始。
29 (2017)	3	「司書人材育成計画」を見直し、「司書職 人材育成計画」を策定。
	4	都筑図書館、平成28年度子どもの読書活動 優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞。
30 (2018)	11	港北図書館、図書館総合展にて地方創生 レファレンス大賞審査会特別賞を受賞。 横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム 「横浜読書百貨展」(第3回)開催。
	3	鎌倉市、川崎市、藤沢市、大和市と広域相互 利用サービスを開始。
31 (2019)	11	ツイッター(Twitter)による情報発信を開始。 横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム (第4回)開催。
	4	横須賀市と広域相互利用サービスを開始。 鶴見図書館、平成30年度子供の読書活動 優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞。 ふるさと納税(横浜サポーターズ寄附金) 受付開始。
令和 元 (2019)	12	「第3期 横浜市教育振興基本計画」策定。
	2	横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム @旭区開催。
2 (2020)	4	緑図書館、平成31年度子供の読書活動 優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞。
	12	「第二次 横浜市民読書活動推進計画」策定。
3 (2021)	2	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム @戸塚区を中止。
	3	図書館の一部サービスを停止。 「横浜市立図書館運営実行プラン」を策定。
4 (2022)	4	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言 を受け、全館臨時休館。 戸塚図書館、令和2年度子供の読書活動 優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞。
	11	町田市と広域相互利用サービス開始。
5 (2023)	2	全館に本の除菌機を設置。
	3	電子書籍サービス、オンライン対面朗読 サービス開始。 NDC(日本十進分類法)第10版の使用開始。
6 (2024)	4	逗子市と広域相互利用サービス開始。 横浜市立図書館のロゴマークを制定。 金沢図書館、令和3年度子供の読書活動 優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞。
	6	横浜市立図書館開業100周年を迎える。 記念式典及び講演会を開催。
7 (2025)	1	日吉図書取次所(愛称:日吉の本だな)開設。
	3	移動図書館「はまかぜ2号」のお披露目を実施。 中央図書館地下1階フロアをリニューアル。